

☆☆

第 48 回数理社会学会大会プログラム

日時：2009 年 9 月 19 日(土)～9 月 20 日(日)

会場：北星学園大学

大会委員長： 中田知生（北星学園大学）

☆☆

大会参加費は以下のとおりです。

参加費：	一般（会員）	2,500 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	3,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費：	一般	5,000 円	学生・院生	4,000 円

なお、不明な点については下記へお問い合わせください。

大会事務局：連絡先 中田知生（大会委員長）北星学園大学・社会福祉学部

住所：〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3 番 1 号

E-mail：tnakata@hokusei.ac.jp TEL 011-891-2751-1404（ダイヤルイン） FAX (011)896-7660

【9 月 18 日（金）】

14：00 ～ 16：00	編集委員会	（第 2 研究棟地下・第 1 会議室）
16：00 ～ 19：00	理事会	（第 2 研究棟地下・第 1 会議室）

【9 月 19 日（土）】

9：00 開場・受付開始

9：25 開会 大会委員長 中田知生（大会委員長） B500 教室

I. 午前の部（9：30-12：10）

【第 1 部会】相互行為の数理モデル（9：30-11：00） B500 教室

司会：池 周一郎（帝京大学）

1. 公私指数をとまなう混合動機問題

富山 慶典（群馬大学） 20+10=30 分

2. ベイジアンゲーム再考 ーよりよき患者-看護師関係構築のためにー

○河野敬雄

松原みゆき（日赤広島看護大） 20+10=30 分

3. 信頼に関する利得構造のヴァリエーション

前田 豊（関西学院大学） 20+10=30 分

*****コーヒープレイク*****

【第 2-1 部会】最適化メカニズムの再検討（11：10-12：10） B500 教室

司会：友知 政樹（沖縄国際大学）

1. 利得依存選好の進化

七條達弘（大阪府立大学） 25+5=30 分

2. The Effect of Rule, Power, and Information on Market Performance in the Production Market Model

Usic Kim (Ewha Womans University) 20+10=30 分

【第 2-2 部会】ネットワーク分析のニューコンセプト（11：10-12：10）**B502 教室**

司会：辻竜平（信州大学）

1. 職場の「実践の共同体」をどうとらえるか？：8 分位 NQ コア・モデルの有効性

金光 淳（京都産業大学）

20+10=30 分

2. Myerson value and betweenness centrality in communication games

Jeong-Yoo Kim (Kyung Hee University)

20+10=30 分

***** 12：10-13：00 **昼食** *******II. 午後の部（13：00-16：40）****【第 3 部会（ポスター）】萌芽的セッション（13：00-14：00）****B501 教室**

1. QCA の分析手法の紹介と応用可能性の検討

○石田 淳（関西学院大学）

藤田 泰昌（上智大学）

片野 洋平（鳥取大学）

2. 社会調査における人口集中地区（DID）概念の有用性と課題

金 井 雅 之（山形大学）

3. 高齢者におけるモラル変化のジェンダー差—固定/ランダム効果モデルを用いて—

中田 知生（北星学園大学）

4. 口承文芸のバリエーションによる地域性の析出可能性

辻 竜平（信州大学）

【第 4-1 部会】社会階層の計量分析と調査法（14：00-15：30）**B500 教室**

司会：高田洋（札幌学院大学）

1. 地位達成アプローチの復権：Research Agenda

鹿又伸夫（慶應義塾大学）

20+10=30 分

2. 教育達成の階級間格差の趨勢—対数乗法層効果モデルによる分析—

藤原 翔（大阪大学 日本学術振興会）

20+10=30 分

3. Shared Questionnaire System による質問紙調査の集計自動化と調査票共有

久保裕也（千葉商科大学）

20+10=30 分

【第 4-2 部会】シミュレーションによる秩序の解明（14：00-15：30）**B502 教室**

司会：中井 豊（芝浦工業大学）

1. Social Capital and Inequality: Agent-based Model of Trust, Opportunity, and Structural Holes

佐藤嘉倫（東北大学）

20+10=30 分

2. 大集団形成のメカニズム：よそ者の仲介による集団統合

堀内史朗（明治大学）

20+10=30 分

3. ネットワーク型囚人のジレンマゲームにおける共有された評判の効果

— 評判基準の寛容性と協力率の維持に着目したシミュレーション —

○鈴木貴久(総合研究大学院大学)

小林哲郎(国立情報学研究所)

20+10=30 分

*****コーヒースタイル*****

【第 5 部会】会長講演（15：40-16：25）

B500 教室

「三つ組みフォーミュレーションと社会学理論——古典、類型、事例」
三隅一人（九州大学）

【総 会】 16：30-17：40

B500 教室

【懇親会】18：00-

大学会館 3 階 生協食堂

【9 月 20 日（日）】

9:00 開場

III. 午前の部（9：30-12：10）

【第 6-1 部会】書評部会 浜田宏『格差のメカニズム』（9：30-11：00）

B500 教室

オーガナイザー・司会：佐藤嘉倫（東北大学）

報告者

1. 武藤正義（芝浦工業大学）
2. 盛山和夫（東京大学）
3. 太郎丸博（京都大学）

リプライ 浜田宏（東北大学）

【第 6-2 部会】価値意識の計量分析（9：30-11：00）

B502 教室

司会：神林博史（東北学院大学）

1. Age-Period-Cohort Analysis of Life Satisfaction in the US and Japan

福田公正（日本大学）

20+10=30 分

2. 都市度と価値観の同類性：ダイアド・データを用いた分析

石黒 格（弘前大学）

20+10=30 分

3. 一般的信頼形成における制度信頼と社会的ネットワークの補完的關係

○大崎裕子（東京工業大学大学院・日本学術振興会）

坂野達郎（東京工業大学大学院）

20+10=30 分

*****コーヒースタイル*****

【第 7-1 部会】所得と労働の計量分析（11：10-12：10）

B500 教室

司会：木村好美（早稲田大学）

1. 長時間労働をもたらす労働需要側の要因

一産業の特性に注目したマルチレベル回帰分析一

長松奈美江（大阪大学）

20+10=30 分

2. 高齢者の所得格差はなぜ大きいのか？

盛山和夫（東京大学）

20+10=30 分

【第 7-2 部会】 共同体のシミュレーション (11 : 10-12 : 10)

B 502 教室

司会：大浦宏邦（帝京大学）

1. 「社会秩序としての共同体、反共同体、汎共同体」

中井 豊（芝浦工業大学）

20+10=30 分

2. 人工社会シミュレーションによる集積パターンに関する研究

田村順子（東京大学）

20+10=30 分

***** 12 : 10-13 : 00 昼食 *****

II . 午後の部 (13 : 00-15 : 05)

【第 8 部会】 シンポジウム (13 : 00-15 : 00)

B500 教室

質的比較分析研究のフロンティア

オーガナイザー：野宮大志郎（上智大学）

司会：竹ノ下弘久（静岡大学）、石田淳（関西学院大学）

報告者

1. Latest Innovations in Configurational Comparative Methods - and the Challenges Ahead

Benoît RIHOUX, Université catholique de Louvain (UCL), Belgium

2. Poverty Reduction - Fuzzy Sets vs. Crisp Sets Compared

Wendy Olsen and Hisako Nomura, University of Manchester, UK

3. QCA の時系列分析

日野 愛郎（首都大学東京）

討論者

1. 鹿又伸夫（慶応大学）

2. 三隅一人（九州大学）

15 : 05 閉会

大会委員長： 中田知生（北星学園大学）

B500 教室

(備考)

1. ○印は発表者（登壇者）を示します.

2. 報告者名の後に発表・討論時間を示しています. たとえば「20+10=30 分」は, 発表 20 分, 討論 10 分 で合計 30 分であることをあらわします.

3. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます. これまでに書かれた論文・報告書・マニュアル等で配布できるものがあればお寄せください. 印刷物だけでなく, 自作のコンピュータ・ソフトウェアなどどうぞ. 事前にお送りいただいても結構です. 「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局（中田研究室）宛にお送り下さい.